

- ✓ 本年3月に閣議決定された「総合物流施策大綱」において、「中速・中型と中速・小型ロボット等の様々な形態の自動配送ロボットの実用化に向けて、新たな実証実験を実現するとともに、その結果も踏まえた安全性の検証や走行ルールの整理等の必要な検討を行う。」こと等を位置付け
- ✓ ラストマイル物流における自動配送ロボットの社会実装に向けては、主に市街地における商品配送サービスへの活用と、大規模マンション等における宅配便の館内配送における活用の2つの面から民間事業者による取組が先行
- ✓ 今後、これまでの実証実験等において明らかとなった課題を踏まえた、更なる進展が期待される

市街地における商品配送サービスへの活用

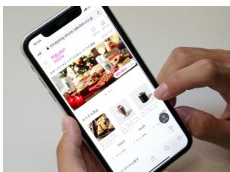
■ 利用イメージ

サイトで注文

商品準備・積込

公道を自動走行

商品受取



■ 導入イメージ

- ・買物困難者等の支援や、配送の合理化の観点から、注文した商品等を、自動配送ロボットにより店舗近傍等から注文者の自宅近傍等まで配送を実施
- ・安全性を確保した上での最高速度の引き上げによる、平均配送時間の短縮・配送可能なエリアの拡大と、操作者一人が遠隔監視できる台数の増加等による配送コスト低減を図ることで、ビジネスモデルの確立が期待



大規模マンション等における宅配便の館内配送への活用

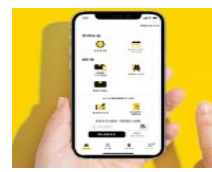
■ 利用イメージ

宅配ボックスに荷物を格納

居住者に通知・受取日時等指定

自動配送ロボットによる館内配送

荷物受取



■ 導入イメージ

- ・タワーマンション等の戸数が多数にわたる集合住宅を念頭に、居住者の受け取り利便性の向上と、宅配事業者の配送負担を軽減する観点から、自動配送ロボットが共用の宅配ボックスから各住戸までの館内配送を実施
- ・対応する荷物形状の拡大、狭い施設への対応、長時間安定稼働に向けたロボット側の技術のアップデートと、宅配事業者・利用者・不動産デベロッパー等の費用分担の在り方等に係る事業者による検討の深化が期待

